

Gikai Kamifurano

第128号

2025年10月24日

発行

かみふらの 議会だより

P.2~3 議会懇談会

町の高齢者対策を議論

P.4~5 定例会

カナダ カムローズ市との
友好都市提携が終結

こども誰でも通園制度スタートへ

P.6~15 一般質問

年末のプレミアム付き
商品券の行方は？ ほか

P.16~17 委員会構成

委員会が改選され後期が始動

今号の表紙写真

上富良野町子ども会育成協議会主催
シャボン祭り

地域のチカラで、はじける笑顔



参加者からの声

テーマ① 高齢者支援について

安心できる介護体制を！

- ラベンダーハイツが老朽化していることに加え入所したくても入れないという声も聞く。今後の立て直しについて町の考えを聞きたい。
- 介護職員の人材が不足していて施設の機能が十分に果たしきれいていないのではないかと感じる。
- 仕事をやめて付きっきりで介護をするわけにもいけない。そうなる施設を利用しなければいけないが、どこに行けばいいかわからない。

充実した高齢者支援サービスを！

- 除雪サービスについて改善できないか。高齢者から苦情が民生委員に直接入る。高齢者に寄り添ったサービスにしてほしい。
- 除雪サービスの対象を広げられるようボランティアで行えるグループ体制を構築してほしい。
- 在宅事業の値上げについて議会で否決となった。重要な問題だと受け止めており、みなさん生活が大変になってきている中慎重に対応してほしい。

安心できる医療体制を！

- 高齢者が運転免許返納後に協会病院等に通うにあたり、交通便の改善、補助制度を作ってもらいたい。
- 町立病院の会計待ち時間を短縮してほしい。

テーマ② 人口減少対策について

増えていく空き家をどうにかして！

- 空き家の虫や雑草問題、除雪問題など見えないところでの住民トラブルが多い。
- 空き家が多くなってきたことに加え、外国人も増えてきており、実態を把握するのが難しい。
- 上富良野に魅力がないから空き家が増える。空き家をどうにかしたい。



公民館大ホールにおいて開催。

ひとくちメモ

民生児童委員協議会とは…

誰もが安心して暮らせるように担当する地域に暮らす身近な相談相手として、生活上の心配事や困りごと、医療や介護、子育ての不安などの相談に応じています。現在、町内には32名の委員がそれぞれの地域を、2名の主任児童委員が児童福祉を専門的に担当し活動しています。

- 地域とのつながりや、助け合う気持ちが薄れているので、町に住んでいる人が楽しめる活動があるといい。
- 地域コミュニティの活性化が課題であり、近所に子どもたちが住んでいても関わりが少なくない。
- イベントが減少している。町民が関われるイベントがもっとあるといい。また、文化を育める環境も必要ではないか。
- 魅力のあるまちづくりへ！
- 地元の野菜が買えることや6次化等、農業に関わるものを活性化できれば。
- 空港が近く、富良野と美瑛の間にある上富良野は立地が良い。この好条件を活かしもっと情報発信をして魅力を伝えてほしい。
- 働く場所が少ない。企業誘致やふるさと納税に関わる雇用を増やすことで改善できないか。

つながりのあるまちづくりから
安心できる町へ！

委員それぞれの思い

- 高齢者実態調査が重荷になっている。
- 委員のなり手がいない。報酬を上げるなど対策してほしい。
- 地区ごとに活動量の格差があり、活動費について今後考えていかないといけない。
- 議員には民生委員が行っている地域の活動をもっと知っていただきたい。様々な活動の場に議員の姿が見られない。

参加者の声



上富良野町民生児童委員
なめかた かずお
行方 一枝さん

民生児童委員として、初の試みの議会懇談会でしたが、委員からのいくつかの質問にも丁寧にお答えいただきありがとうございました。上富良野町に定住してもらうためにはどうしたらいいのか？問題点など、私達が日頃感じていることを率直に話し合えました。また、民生委員の日常の役割なども改めて知っていただいたことも良かったです。様々な地域活動が行われている現場にも、お忙しいでしょうが、是非足を運んでいただきたいという要望にも理解いただけたと信じています。とても有意義な時間を持てたことで議員さんが近く感じました。毎年続けてほしいと希望します。

議員懇談会を通して、町議会議員と民生児童委員が意見交換を行い、和やかな雰囲気の中で高齢者支援や、人口減少対策などの課題について前向きに話し合うことができました。立場は違っても、町をより良くしたいという思いは同じで、議員の皆様との距離も縮まり有意義な時間となりました。今後も地域の相談相手として、協力しながら町づくりに取り組んでいきたいと思っています。



上富良野町民生児童委員協議会
会長 おおば とみぞう
大場 富蔵さん

あなたの声を直接議会に届けませんか？

町内の方で5人以上のグループであれば、どなたでも議会懇談会の開催を申し込むことができます。議会に直接生の声を伝えることで、あなたの課題が町の課題として扱われるきっかけにもなります。

申し込み方法

申込書を議会事務局までご提出ください。
詳細はこちらから [📄](#)



上富良野町議会事務局
☎ 45 - 6992 FAX 45 - 5362

補正予算

ラベンダー・ハイツ利用者送迎用車両購入

532万2千円

平成26年に購入した利用者送迎用車両（リフト付きワゴン車）が故障したことから、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、新たな車両を購入するための予算を補正したことが報告されました。



日産キャラバン 2,500cc 寒冷地仕様 定員10名のうち車いす2名

しろがね地区基幹水利施設突発事故復旧事業 **186万円**

令和7年4月20日に発生した豪雨災害にて、しろがね土地改良区（美瑛町・上富良野町・中富良野町）の上南送水幹線用水路が破損したため、仮復旧工事及び復旧に係る費用（国・北海道負担分以外）を補正しました。

農業世代交代円滑化事業 **430万円**

町の次世代を担う農業者になる事を志す者に対し、早期の経営基盤の確立に向けた支援をする為、北海道経営発展支援事業補助金を活用し、申請のあった農業用機械購入に対する費用を補正しました。



議会 Pickup

定例会の概要

町議会では、第3回定例会が9月18日から19日までの2日間の会期で開かれました。定例会では、一般質問は9名の議員が行い、20項目にわたって、議論が交わされました。議会からは、議員派遣の報告、2件の意見書が提出されました。補正予算、条例制定・一部改正なども審議され、すべて原案のとおり可決されました。また、教育長、教育委員会委員の任命、人権擁護委員候補者の推薦が行われ、全て同意されました。

人事

教育長

令和7年9月30日教育長の任期が満了となるため、教育長を任命する議案が提出され、賛成多数で同意されました。



すずき まゆみ
鈴木 真弓さん

令和7年10月1日から
令和10年9月30日までの
3年間

教育委員会委員

教育委員会委員を任命する議案が提出され、賛成多数で同意されました。



しかま みつひろ
四釜 充啓さん

令和7年10月1日から
令和11年9月30日までの
4年間

人権擁護委員

人権擁護委員の候補者として推薦する議案が提出され、賛成多数で同意されました。



かわさき まさる
川崎 優さん

令和7年10月1日から
令和10年9月30日までの
3年間

友好都市

上富良野町とカムローズ市との友好都市提携の終結

町とカムローズ市は、昭和 60 年に友好都市提携を結び今年 40 周年の節目の年となり、町から市に対して、提携継続に対する意思確認を電子メールにより行われましたが、カムローズ市長からの返信がないことや、交流を担っていた両市町の民間団体が活動をすでに解散されていることから、この度、長年に渡る友好都市を町は終了することにしました。



友好都市提携の記念碑(1985 年 9 月盟約)

条例

こども誰でも通園制度

子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律により、生後 6 か月から満 3 歳未満で保育所などに通っていないこどもを育てている家庭が、就労要件を問わず、時間単位で柔軟に利用できる新たなこども誰でも通園制度が導入されることから、町として条例を定め、来年 4 月よりスタートします。

意見書を国に提出しました

国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

積雪寒冷地である本道では、安定した除排雪体制の確保など、冬期間の住民の安全・安心を確保することが必要である。そのため、資材・人件費の高騰の影響を適切に反映した必要な予算・財源を確保することを求める。

将来にわたり安全安心な医療・介護制度の提供を求める意見書

少子高齢化が進む本道において、地方では特に人口減少が激しい上、昨今の急激な人件費の増加、光熱費・食材料費の高騰なども相まって、現在の医療機関、介護施設等を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあることから、臨時的な診療報酬等の改定や国による補助制度の創設により、全国一律の対策を講ずるよう強く要望する。

富良野広域連合議会

第 2 回定例会

令和 7 年第 2 回富良野広域連合議会定例会が 10 月 9 日(木)に開催され、議案 5 件(補正予算 1 件、人事 1 件、認定 1 件、報告 1 件、その他 1 件)が原案のとおり可決・認定されました。

また、広域連合長から公共串内牧場における感染症(小型ピロプラズマ症)の発生についての行政報告がありました。

議会広報特別委員会

講演 議会の「見える化」と住民との「信頼築く」

議会広報の基本と編集

講師 議会広報サポーター 芳野 政明 氏

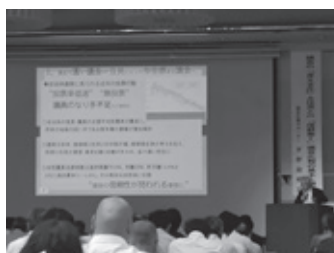
研修内容

8 月 19 日、北海道町村議会議長会主催の議会広報研修会が札幌市で開催され、議会広報特別委員 5 名が参加しました。

住民に読まれる広報、議会の内容が伝わる広報づくりのために、デザイン・レイアウトや見出しで訴求力のある紙面をつくり、議会活動を的確に伝えることが重要であることを学びました。

研修を終えて

住民に読まれる議会広報づくりのため、誌面の工夫や分かりやすい表現、見やすい文字などを取り入れ、読者の興味・関心を喚起する企画・編集が必要であると感じました。今後も議会の活動を分かりやすく伝えることを意識しながら、「情報共有」「見える化」など広報紙の役割を果たせるよう努めていきたいと思っています。



研修会の様子

上富良野のここが聞きたい!!

町民の思いを届ける 60 分



⑥  林 敬永 議員 ① 外国人による日本での土地取得に対する町の対応について ② 消防本部移転計画の再考と住民安全確保について	①  湯川 千悦子 議員 ① 熱中症による事故防止のため、エアコン設置費用の補助を行う考えはないか ② 止まらない物価高騰対策としてプレミアム付き商品券の発行を行う考えはないか
⑦  荒生 博一 議員 ① ラベンダーフェスタかみふらの 2025 の運営について ② 町民に届く地域イベント等の広報について	②  井村 悦丈 議員 ① 今後の熱中症による健康被害予防対策について ② 郷土芸能の保存継承について
⑧  茶谷 朋弘 議員 ① 町の移住定住支援策について	③  中瀬 実 議員 ① ヒグマ対策について
⑨  米澤 義英 議員 ① ミサイルの配備計画について ② こども誰でも通園制度について ③ 緊急通報システム事業について ④ 白銀荘における非常用電源の確保について ⑤ 人口減少対策について ⑥ 上富良野高校の維持存続について	④  金子 益三 議員 ① これからの富良野広域連合への考え方は ② 年末年始の繁忙期に対応できるプレミアム付き商品券事業は行わないか
ひとくちメモ ・一般質問のページは質問議員本人により編集されています。	⑤  佐藤 大輔 議員 ① 花火大会について ② ラベンダーフェスタにおける交通渋滞について

議会を傍聴してみませんか？

9月定例会の傍聴者は7人

YouTube はじめました /

次の定例会の開会予定は…

12月17日(水)、18日(木)です

こちらからも
ご視聴いただけます。



1日目
1～6

2日目
7～9

※この日程は変更になる場合がありますので、ご確認のうえ、役場3階の議場までお越しください。

熱中症
対策

エアコン設置費用の補助を行う考えはないか

町長－聞き取り調査等を実施した上で検討していく

つぶやき…

毎月の生活必需品の値上がりは、いつまで続くのだろうか…



湯川 千悦子 議員

湯川議員 日本の夏は年々厳しさを増し、熱中症対策などの健康管理がより重要になってきている。今年は35度を超える猛暑日が数日あり、高齢者世帯や乳幼児がいる世帯に対してエアコン設置費用の補助を行う考えはないか。

斉藤町長 現在、高齢者や乳幼児に限定してのエアコン設置の補助は行っており、設置状況についても把握していないことから聞き取り調査等を実施した上でどのような対策が可能なのか検討していく。

湯川議員 熱中症の4割は家の中での発症とのデータもある。来年は益々気温の上昇も考えられ、

行政としても町民の命を守るべき事案と考えるが、

斉藤町長 昨年より冷暖房設備のある保健福祉センターを6月から9月の期間、クーリングシェルターとして指定している。高齢者世帯や乳幼児について、

行政としても熱中症対策の啓発などを行っている。今後においても、地域の方々が利用しやすい公共施設を選択しながらクーリングシェルターの拡充を進めていく。



町内唯一のクーリングシェルター、保健福祉総合センターかみん

物価高騰対策は進んでいるか

湯川議員 毎月のように生活に関わる食品や物品の値上がりが報道されており町民の生活はひっ迫する一方である。

今年度町民に対しての生活支援はあるのか。

斉藤町長 現在も物価高騰が続いており、国において参議院選挙後に対応策が示されることを想定しその対応を迅速に図るよう心掛けていたところだが、具体的なものは示されていない。今後何らかの国の対応が示された場合には他の自治体に遅れることなく対応していく。

湯川議員 今年度プレミアム付き商品券の発行は

あるのか。

斉藤町長 年末年始の需要に対応する形でのプレミアム付き商品券事業の実施を検討している所である。

湯川議員 灯油代、電気代、水道代などのライフラインの生活支援の補助は考えていないか。

斉藤町長 それらについても年末に向けて考えていきたい。



以前発行されたプレミアム付き商品券

ひとくちメモ

プレミアム付き商品券事業とは…購入価格に対し一定のプレミアム（割増分）が上乗せされた商品券を発行・販売し、購入者とその商品券を地域の店舗で利用するものです。これにより、地域内の消費を喚起し、経済の活性化を図ることが目的です。

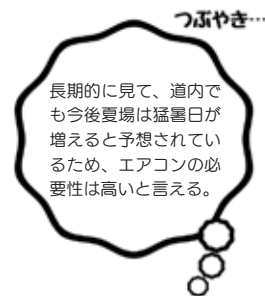
熱中症
対策

今後の熱中症による健康被害予防対策は？

町長－財源等の課題も含め検討していく

斉藤町長 熱中症予防を
高齢者世帯への町独自のエアコン購入設置補助は行わないのか。

井村議員 町では気候変動適応法改正により、熱中症による健康被害の発生を防止するため、保健福祉総合センターかみんをクーリングシエルターに指定し、熱中症による健康被害発生の防止に努めているところであるが、近年では異常な気温上昇が観測され、過去の北海道の夏とは異なる気候になることが今後予想されている。感染症のリスクを考え、在宅で過ごす時間が長い方もおられる中で、住宅や、町民に広く利用される公共施設の空調について伺う。



北の大文字の安政太鼓

目的とした高齢者世帯を優先するエアコン設置の補助は行っておらず、高齢者世帯のエアコン設置状況などの調査等を実施した上で、どのような対応が可能なのか、財源等の課題も含め検討していく。

井村議員 今後、町の公共施設にエアコンを設置する計画はないのか。
斉藤町長 今後においても、地域の方々が利用しやすい公共施設を選択しながら、クーリングシエルの拡充について検討を進めていく。



井村 悦丈 議員

伝統芸能の保存継承について

井村議員 町には、古くから地域に根差した郷土芸能がある。これらの芸能は、娯楽というよりも地域の歴史や文化を今に伝える貴重な民俗芸能であり、世代を超えて受け継がれていくことが重要だと考え、郷土芸能の保存継承についてどのように考えているのか。

鈴木教育長 主な活動団体として、「東中清流獅子舞」、また「上富良野安政太鼓」いずれの活動も単なる娯楽芸能ではなく、地域を物語る大切な文化的資源であると認識している。

両団体の自主的な活動を尊重し、必要に応じて関係機関及び団体等と協議を重ね、普及活動をしていただくように支援は継続していきたいと考えている。

井村議員 鼓動館の老朽化、音の問題もあり、道具の保管場所を兼ねたような練習場所を確保すべきではないか。

佐藤副町長 団体とのしつかりとした話し合いをしながら、安政太鼓に限らず、郷土芸能活動をしている団体の方と情報共有をしながら、協力できる範囲をしっかりと協力したいと考えている。



郷土芸能とは…特定の地域の風土、文化の特色を大切にする芸能。
娯楽芸能とは…人々を楽しませるための芸術や表現技法の総称。
伝統芸能とは…全国的・歴史的広がりを持つ歌舞伎や能、茶道をいう。

有害
鳥獣

熊対策の官民連携の訓練をすべき

町長－定期的な訓練に向けて取り組む

中瀬議員 ヒグマ出没対策に向け、官民連携の訓練を実施する考えはあるか。

斉藤町長 官民連携の訓練についてであるが、今後関係機関を含めた机上訓練や実動訓練は必要となると考えている。緊急銃捕を行うための条件設定のために改正法が施行されたが、環境省のガイドラインがあるものの避難指示や交通規制、立入規制といった警察との連携も不可欠であり、それらを反映した訓練のプログラムも作成する必要がある。本町の職員はもとより、ほとんどの自治体職員は経験がなく、また緊急銃捕実施のための講師なども少ないことから、

現在、管轄である富良野警察署や沿線市町村とも協議しているところである。今後は関係機関や猟友会、沿線自治体等とも連携し、定期的な訓練の実施について計画的に取り組んでいきたい。



ヒグマ出没注意の看板

中瀬議員 令和6年、令和7年のヒグマ出没件数と、捕獲頭数は。

斉藤町長 出没件数については、同じ個体が目撃されている可能性もあるが、令和6年は26件、令和7年は8月末現在で24

件、捕獲件数については、令和6年は6頭、令和7年は4頭となっている。

中瀬議員 令和6年と令和7年において市街地に熊が出た案件はあったのか。

山内農業振興課長 ライン引きというのはしていないが、俗に言う市街地に熊が目撃されたという話は聞いていない。

中瀬議員 町民から役場に熊が出た、見たという通報があったとき、町に対応マニュアル、通報者に対するマニュアル的なものはあるのか。

山内農業振興課長 マニュアル自体は今作成しているが緊急銃捕に関して、今改正中である。通報に

中瀬議員 今の所、我が町で人身被害はないが一刻も早く対応策を考えて訓練を行うべきと思うが。

山内農業振興課長 熊の駆除に関して猟友会と引き続き協力しながら熊の対策に努めたいと考えている。

山内農業振興課長 熊の駆除に関して猟友会と引き続き協力しながら熊の対策に努めたいと考えている。

つぶやき...

福島町、知床で人身事故が発生。今の所我が町ではヒグマによる人身事故がない。今後も人身事故がないことを願う。



中瀬 実 議員

ひとくちメモ

改正鳥獣保護管理法とは…市街地にヒグマが出た場合、各市町村長の判断で、ハンターによる発砲を依頼できるようになる、緊急銃捕ができるようになりました。

広域

これからの富良野広域連合への考え方は

町長－適宜検討していく

つぶやき…

富良野広域連合は、各自治体が自立性を保ちながら連携を強化する形を目指して進めてほしい。

金子議員

発足から16年が過ぎた富良野広域連合の現状認識と課題は。

斉藤町長

事務を広域連合へ集約することで、効率化が図られたと認識しており、今後も行政サービスの安定的な供給などに努めていく必要がある。

金子議員

広域連合が発足に至るまでの沿革や広域連合になったのかをどう捉えているか。

斉藤町長

今から遡ると16年前、当時の国の三位一体の改革から始まるかと思う。この圏域も今後どうするかという中で、最終的に選択したのが広域連合と認識している。

金子議員

平成13年に始まり、富良野圏域は合併ではなく連携を深めるこ

とで自主性を高めるといって、スタートし自賄方式を併用し16年が過ぎ経費削減がされていない現状で、非常にねじれた現状であるが町長はどのよう

に考えているか。

斉藤町長

金額には表れない部分の合理化、効率化というのは図られたと考えている。

金子議員

広域連合は新しい自治体として、新たな

枠組みの中で職員となるべきではないか。

斉藤町長

問題点、まだ積み残しが16年たつてもそのままという、いろいろ各市町村に事情があるのかと思うが、まだ解決されていない。

金子議員

自賄など16年この問題が棚上げされて積み残しになっているということを今後どう進めていく考えか。



金子 益三 議員



富良野市へ移転される消防本部

斉藤町長

自分のまちで全て自賄いしているので、予算の配分については問題ない。本部で予算を集めてそれから配分すると、負担とサービス、予算の配分がどうなのか、それがどう担保されるのか、いろいろ皆さん不安に思っているところが将来、統一するにしても危惧する部分と

思っている。

金子議員

自賄いの中で消防は特に問題がある、消防本部の人員と給与の負担も町が大きく拠出する状態が続いている。本来はこの部分を整理しなければならぬのでは。

斉藤町長

上富良野署員が苦勞しているのが当然解消してほしいが、新たに兼務をなくして本部職

ひとくちメモ

広域連合とは：複数の地方公共団体が協力し、広範囲にわたる行政課題に効率的かつ柔軟に対応するために設立される特別地方公共団体です。

員を4名増やすとなると、5市町村の合意が必要で、純粋に4名増やしてそれだけの事務量が常時あるのかどうかというのも十分検討し、5市町村で決める問題と思う。

金子議員

給食センターも老朽化が激しい。自賄で建て替えか、広域で負担のどちらなのか。

斉藤町長

色々選択肢があるが、自賄いで建てた場合広域連合だからといって、他のまちも建設費を負担というのは難しいと考える。

金子議員

富良野圏域5市町村での市町村合併は今後進むのか。

斉藤町長

合併は今現在では考えていない。将来については分からない。

ラベンダー
フェスタ

過度の渋滞は見過ごせないが

町長－生活への支障を最小限に抑えたい

つぶやき...

ラベンダーフェスタは町民の祭りと言えはるのか？町民の機上がることを期待するが...



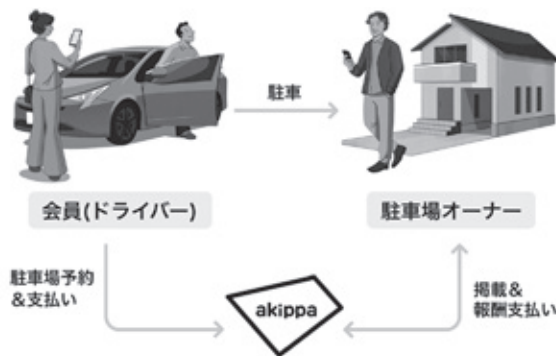
佐藤 大輔 議員

佐藤議員 今年は昨年を上回る約5万6千人の方がライトアップの幻想的な空間に酔いしれたと各メディアで取り上げられた。その一方、付近の交差点で車両が混雑し、町民の日常生活に支障をきたしている。観光振興と住民の安心・安全を両立する観点から、対策を講じていく必要があると考えるが。

齊藤町長 夜間の2時間のみという短時間に来場者が入れ替わる特殊なイベント形態で、抜本的な解決は困難だが、町民が町の誇りと感じられるようなイベントでありつつ、新たな臨時駐車場の確保、警備員、交通整理員の増員など、対策を講じたい。

佐藤議員 渋滞の緩和策や財源の確保策として駐車場の有料化を求める声がある。有料化によって来場者が抑制され渋滞を緩和できるのか、かえって渋滞が悪化するのを見解を伺う。

齊藤町長 有料化によって迷惑駐車車の増加や来場者口付近からパークゴルフ場までの道路脇の路側



駐車場を事前に確保出来るため
安心して来場ができる「アキッパ」

者を減少という懸念があるが、現時点では全く結論は出ていない。ただ、有料化についても渋滞緩和策の1つとして検討したい。

佐藤議員 個人宅の車庫や空きスペースを登録すれば、観光客が有料で駐車可能になるアキッパというアプリサービスを活用することで、渋滞の解消と町民のイベント参画につながると思うが。

齊藤町長 民有地を貸すことで、イベントに参加

ひとくち
メモ

アキッパとは...個人宅などにある空きスペースを駐車場として貸し借りできるサービス。利用者はアプリで目的地近くの駐車場を事前決済で予約でき、オーナーは収益を得られる。

齊藤議員 このアプリサービスなどの活用で町民が一体となり、町外の方も町内の方も上富良野を好きになるということが、予算を割いてイベントを実施する本場の目標である。現状に満足することなく渋滞の低減を図りながら、地元経済が潤うよう努めたい。

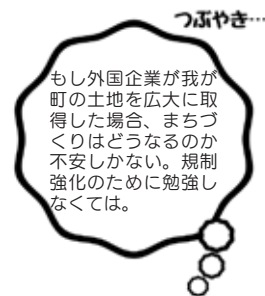
安心

外国人による土地取得、町の対応は？

町長－適切に対応していく

林議員 外国人による日本での土地取得に対する「自治体」の対応について、ここ数年全国的に注目が集まっており、特に安全保障や水資源の保全といった観点から各自治体が対応を進めている。当町においても、外国人による土地取得が聞かれるが、外国資本等による土地取得は、町民において生活するうえでの不安等もあることから、情報公開と自治体としての明確な方針が求められていると考えるが、町としてどのように対応していくのか。

斉藤町長 外国資本であっても経済的な取引などは国内の資本との差異はないと考えられる一方、



活発化する不動産投資

生活習慣などの認識の差や所有者が国外在住の場合の連絡調整経費の負担増やトラブル時の対処に国内企業以上の労力と時間・経費が必要になることも考えられ、道内の自治体においては、過度な開発や不適切な構築物、不適切な土地利用等を制限する動きも見られることから、本町においても先進的事例を学び、国の法制度も注視しながら調査研究を行わなければならないと考える。



林 敬永 議員

林議員 先の報道にあった富良野広域連合における消防本部機能を富良野市へ移転する計画について、私としては覆耳に水のことであり、このことは上富良野町の地理的特性と住民の安全・安心に重大な影響を及ぼすものであり、看過することの出来ない重要なことだと考える。消防本部機能が上富良野町に置かれている理由は、どのような理由からと理解しているのか。

斉藤町長 消防本部機能が本町に置かれている理由については、当時の市町村長や担当者などにより、広域連合をどのよう



現状、日本では外国人が土地を購入することに対する全面的な規制がほとんどありません。これは憲法で財産権が保障されていることや国際的な協定に基づいているためです。



消防本部が入る庁舎

に進めるかという意見、議論をした結果、市町村における機能の分担等を考慮して決定されたものとなっている。

また、町民へ説明する考えについては、住民の生命・財産を守るうえで不可欠な消防サービス、特に初期消火や、救急搬送における対応は、上富良野消防署への影響はないものと考えているため、説明会などによる住民への説明は考えていない。

ラベンダー
フェスタ

有料イベントの検討が必要なのは

町長－検討する必要があると考える

つぶやき…

今年のライトアップの
来場者 56,000 人から
一人 500 円をいた
だいた場合 2,800 万
円もの財源確保がで
きただけだなあ～



荒生 博一 議員

荒生議員 今後もこのま
まのクオリティでラベン
ダーフェスタかみふらの
を行っていくためには、
今般の物価高でライトア
ップの機材のレンタル料
や、オペレーションに伴
う人件費、また、交通誘
導に必要な警備員などの
必要経費が高騰している
今、今後においても持続
可能なイベントにしてい
くためには、有料イベン
トとしての継続も視野に
検討が必要であると考え
るが。

を期待するものである。
また、一方で駐車場不足
や交通渋滞など、抜本的
解決が困難な課題も顕在
化していることや、物価
高騰や人件費の上昇で特
に交通誘導など安全なイ
ベント運営に係る根幹の
費用が増高している現状
であるので、永く主要イ
ベントとして持続してい
くためには、今後有償化
を含めた持続可能なイベ
ントとして定着すること
を検討する必要があると
考えている。



上富良野町の地酒 泥流地帯・十勝岳

純米吟醸酒「泥流地帯」
の販売について

荒生議員 上富良野産酒
米きたしづく100%の純米
吟醸酒である泥流地帯の
販売が昨年より行われて
おり、今年の春には十勝
岳ラベルのプレスリリー
スがなされるなど、販売
は順調であると察するが、
町民により浸透し活用い
ただくためにも住民周知
等の充実が求められる。
今後の地酒づくりどのよ
うに推進していくのか。

斉藤町長 現在町内外で
販売されている純米吟醸
十勝岳については、十勝
岳ラベル、泥流地帯ラベ
ルの2種類、一升瓶、四
合瓶、300ミリリットル瓶
をラインナップしており、
かなり好調な売れ行きを
まいるたい。

見せ、日本酒シーズンと
される冬季に向けては、
在庫の維持が困難な状況
となっている。安定した
生産の維持に必要な製造
量を完売できる水準には
達したものの、町の特産
品としての定着には5年
10年という期間での試行
錯誤を要すると考えてい
る。うるち米が中心であ
る本町の稲作においては、
酒米の作付については大
きな手間、コストがかか
り、さらに米価格の高騰
と酒米の価格のバランス
を取る必要があるが、十
分な原材料の確保に努め、
醸造量についても増加し、
町内でのさらなる浸透と、
販路の拡大、ブランドイ
ングに向けて取り組んで
まいりたい。

ひとくち
メモ

純米吟醸「泥流地帯」は、大正15年の十勝
岳大噴火の際、災害に遭った草分地区の農
家さんの協力により栽培された酒米「きた
しづく」を使用して製造されたものです。

移住
定住

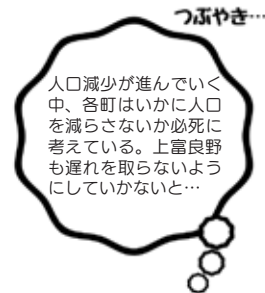
移住定住に向けた支援策が中途半端ではないか

町長－すぐにできることから取り組んでいきたい

茶谷議員 移住促進を進めていく中、近隣の他市町村と比較をすると十分な効果が出ているか疑問が残るが、成果に対する考えは。

斉藤町長 町独自で子ども医療費無料化や、上富良野高校への支援、新規開業支援など、町民を含め移住を検討している方にも魅力を感じてもらえるまちづくりを目指し支援策を実施してきたが、町外への情報発信が不足していたと感じている。

茶谷議員 医療費無料、新規開業支援、シーブンステイ住宅やリフォーム補助などは、他の町でも同じようにやっている。情報発信不足というより、他町村と比べると支援が



昨年開催された移住・交流フェア

弱いのではないかと感じてしまう部分はあるが。

斉藤町長 それぞれ自治体間で施策は違うが、今のところは上富良野の施策が足りなくてほかの市町村に比べて人口が減っているという現状にはない。

茶谷議員 自衛隊員を含め仕事で町内に勤務されている方が町外に住居を構えるといった話を近頃



茶谷 朋弘 議員

よく聞かぬが町外への流出を防ぎ、定住を図るための施策はないか。

斉藤町長 これは上富良野特有の現象ではなくて人口動態が都市部に集中している。やはり便利などところに行くという日本全国の現象というのはあるのだらうと認識しているが、多少通勤・通学時間が延びても上富良野のほうがいいな、上富良野に住もうかなと感じるような施策は将来これから人口を維持していくためには当然必要だと考えている。

茶谷議員 上富良野町に移住・定住した理由として多くの方が、自然や景観、人のよさ、空港の近さ、コンパクトな町で住

みやすいこと等をあげるが、町の取組や支援策がすぐよかったといって移住・定住してきましたという声を聞くことがあまりないが今後の考えは。

斉藤町長 今持っている制度がそのままでもいいというわけではなく、上富良野と同じような条件で人口が増えている町はなぜ増えているのか、十分に調査・研究をしたうえで、ほかの手段はないのか、既存の政策も含めてブラッシュアップが必要だと思う。一人でも多く人口が増えるような政策を取っていかねばならないと考えている。



多くの町で人口が減っている一方で、子育て支援や住宅支援の充実、積極的な移住政策によって南幌町、東川町、厚真町等のように人口を増やしている町も増えてきている。

平和

ミサイル配備計画の中止要請を

町長－不安等の課題が生じた際に丁寧な説明をする

つぶやき…

住民の命とくらしを守るのが町長の役割、ミサイル配備計画の容認は許されない。

米澤議員 8月29日敵の射程外から攻撃する国産の長射程ミサイルの配備計画を発表した。2026年度に、上富良野駐屯地に滑空弾を運用する部隊を新編・配備するとされている。町民からは、攻撃の対象になりかねないなどの不安の声がある。町や関係機関は配備計画について住民に説明を行い配備の中止を求めるべきでは。

斉藤町長 29日の午前中に北海道防衛局より説明を受けたところである。

駐屯地創設以来、町の活性化とさらには人口減少への歯止めにつながってきており、共存共栄のまちづくりを取り進めてきたことから、一定の理解を示したところである。ミサイル配備計画に伴い部隊の再編と弾薬庫の拡充については、令和8年度末までに100人増員の見込みと説明を受けている。弾薬庫の拡充の説明は受けていない。

配備にあたり不安等の課題が生じた際には地元の皆様丁寧な説明と課題の解消を行うように、国に要請する。



長射程ミサイルが配備される上富良野駐屯地



米澤 義英 議員

新築住宅の助成制度を

米澤議員 人口減少で地域の活力や社会基盤の衰退などが問題となっている。町においては、人口減少を抑制するために定住移住促進計画に基づき、町内居住者の定住と町外居住者移住促進を行っている。また、他の自治体では人口減少を抑制するために若い世代が住居を新築するときに、住宅助成を実施し定住移住につなげている町もある。町においても若い世代などが住宅を新築するときに住宅助成制度を設けて、より踏み込んだ対策が必要では。

斉藤町長 本町においては民間アパートが、現在では民間アパートが、

1055室あり、移住希望者に対し住居数が不足しているといった問題は少ないと考える。貸したい、売りたいという所有者と、住みたいという移住希望者がマッチングできるよう、情報提供の在り方について検討したい。賃貸住宅にお住まいの方が町内に住宅を建てたい、ただくことは、定住にとって重要なことである。他の自治体で行っている移住者に特化した金銭的支援については、本町のように社会的増減の多い自治体では実施が難しいが、移住・定住対策のほか、これまでの住居の支援策等に新築への対応が可能なか、どのような支援が必要なのか検討している。

ひとくちメモ

安保3文書とは…最上位の戦略文書で、防衛目標を達成するための手段、防衛費の総額や装備品数量などを示す計画から構成されている。

委員会の新しい体制の紹介

概要

選挙から2年が経過し任期を終えたため、9月11日の全員協議会において議員間で選挙を行い、第3回定例会にて議長より選任されました。

これから2年間、新体制でより良いまちづくりを目指します。

ひとくちメモ

委員会とは…扱うテーマや役割を分けた“専門チーム”のこと。大きな方針は本会議に全員で決めますが専門的な部分や活動は委員会に分かれてじっくり検討します。

なぜ委員会を改選するの?…議会の公平性を保ち活性化を促すために委員会メンバーを新しくします。



①委員長	金子 益三	⑤委員	中瀬 実
②副委員長	井村 悦丈	⑥委員	北條 隆男
③委員	林 敬永	⑦委員	中澤 良隆
④委員	茶谷 朋弘		

総務産建常任委員会

町の基本計画や、産業、観光、道路や水道の整備を主に担当しています。

委員長からひとこと

この度総務産建常任委員長に就任いたしました。総務全般・農業・企画商工観光・建設水道・税務などを所管担当します。しっかりと審議をして住みよいまちづくりのため頑張ります。



①委員長	佐藤 大輔	⑤委員	小林 啓太
②副委員長	湯川 千悦子	⑥委員	岡本 康裕
③委員	荒生 博一		
④委員	米澤 義英		

厚生文教常任委員会

医療、福祉、教育といった生活に関わる分野を主に担当しています。

委員長からひとこと

独居高齢者世帯の増加、町立病院の医師不足、ラベンダーハイツの施設維持など課題が山積しておりますが、解決に向けて尽力いたします。

議会をリニューアル



荒生 博一

民生委員推薦会委員

民生委員候補者を厳正かつ公平に審査し、北海道に推薦しています。



- | | | | |
|-------|-------|-----|-------|
| ①委員長 | 荒生 博一 | ④委員 | 金子 益三 |
| ②副委員長 | 北條 隆男 | ⑤委員 | 中瀬 実 |
| ③委員 | 佐藤 大輔 | ⑥委員 | 岡本 康裕 |

議会運営委員会

より良い議会運営のために協議を行い、議会の活性化、改革を進めます。

委員長からひとこと

議会運営委員会では、議会の円滑な運営を図るための協議と、議会の会議規則・条例の制定・改廃、議長からの諮問事項に関する調査や審査を行います。

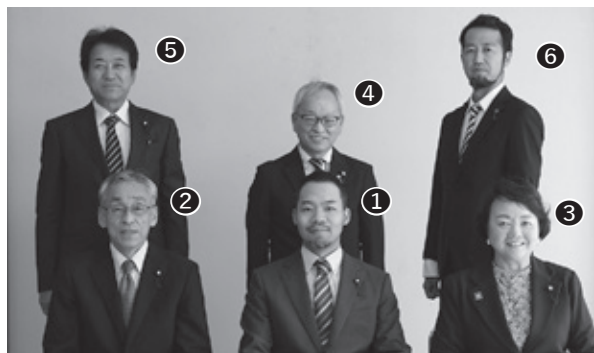
これからの2年間しっかりと職責を全うしたいと思います。



林 敬永

都市計画審議会委員

公園魅力再生計画や、景観づくり計画などを調査・審議しています。



- | | | | |
|-------|--------|-----|-------|
| ①委員長 | 茶谷 朋弘 | ④委員 | 米澤 義英 |
| ②副委員長 | 林 敬永 | ⑤委員 | 井村 悦丈 |
| ③委員 | 湯川 千悦子 | ⑥委員 | 小林 啓太 |

議会広報特別委員会

町民に議会のことを知ってもらうために議会だよりを発行しています。

委員長からひとこと

1人でも多くの町民が手に取り議会に興味を持てるような「分かりやすく、読みたくなる議会だより」を発行できるよう頑張ります。



茶谷 朋弘



- | | | | |
|------|-------|-----|-------|
| ①会長 | 井村 悦丈 | ④監事 | 米澤 義英 |
| ②副会長 | 岡本 康裕 | ⑤監事 | 中瀬 実 |
| ③理事 | 北條 隆男 | | |

議員会

議員の福利厚生や議員行事の開催などを行います。

会長からひとこと

議員相互理解を深め、情報交換・意見交換を通じて、より円滑な議会運営につなげたいと思います。

議会の主な予定

- 10月 9日 富良野広域連合議会定例会
- 10月 15日 決算特別委員会（～17日）
- 11月 4日 議会運営委員会
先進地行政視察（～5日）
- 11月 6日 上川町村議会研修
- 11月 17日 議会広報特別委員会
先進地行政視察（～18日）
- 12月 17日 第4回定例会（～18日）

次回2月10日発行予定

次号の注目！

- ・R6 年度決算
正しく使われていたかを総チェック

今号の表紙

「提供ありがとうございます」

上富良野子ども会育成協議会
会長・大町連合子ども会 代表 大竹 弘佑さん

このイベントは、各「単位子ども会」の代表を中心とし、今年度新たなスタートを切った上富良野子ども会育成協議会主催で開催しました。子ども会経由に絞った告知でしたが、会場がたくさんの笑顔とシャボン玉に包まれたことを嬉しく思います。

ひとつひとつのシャボン玉はあつという間に弾けていきましたが、同じく弾けるように遊んでくれた子どもたちの記憶にはのこっていると良いな、と思います。

「来場・ご協力いただいた皆さまありがとうございます。今後の活動にも注目ください。」

より良いまちづくりのために勉強してきました

◆7月8日「北海道町村議会議長会議員研修会」

①「地方議会における議員の多彩化にむけて」
西南学院大学法学部教授 勢一 智子 氏
人口減少社会が地域にもたらすものや時代に求められる地方議会に向けて等の視点から、若者が議員になりたいと思える社会を実現するために、変革が必要だと講演されました。

②「人口減少社会を生き抜くために」

人口戦略会議副議長 増田 寛也 氏
広域市町村連携のモデル事業を確立すること、関係人口に対し魅力ある資源資産を確立すること、地方の良さを活かし不足するところを補完しあいながら人口減少社会に対応することが必要と講演されました。

◆9日「千歳市防災学習交流センター

そなえる」視察

疑似震災体験や火災時の避難、高い所からの避難等が体験できる他、災害が発生したときの災害対策本部機能を持ち合わせていました。活火山のある当町も災害対策本部機能の充実や災害体験学習を行える施設の必要性を感じました。



地震体験コーナー

編集後記

9月から議会広報特別委員会委員長を務めさせていただくことになりました。

議会だよりを編集するにあたって、1人でも多くの人に読んでもらえるように、参考にするため様々な地域の議会だよりを目を通すことが多くなりました。

先進地と呼ばれる地域はとても工夫されており、読んでいただけで各議会の努力が伝わってきます。それに合わせて上富良野の過去の議会だよりにも目を通すと、これまでより良い議会だよりを作るために上富良野の先輩議員たちも、沢山考え工夫してきた経緯が十分に伝わってきます。今までの先輩方たちの努力を次に繋げられるよう気を引き締めて議会だよりを作りたいと改めて感じさせてくれます。各議員の昔の写真や、議会の奮闘など過去の議会だよりを読むと、とても面白く、議会がより身近に感じられるようになると思うので、皆さんもお時間ある時に町のホームページから覗いてみてはいかがでしょうか。

（茶谷 記）

議会広報特別委員会

委員長		副委員長		委員	
茶谷 弘	林 敬 永	湯川 千悦子	米澤 義 英	井村 悦 丈	小林 啓 太